



こ ばやし たか とら
小林 貴 虎

しみんくらぶ
市民クラブ

伊勢志摩サミット成功に市が貢献できること

問 海外からの渡航者に対する上質なおもてなしを準備する事が、経由地である津市が最も貢献できる事であり、また再来を促す策だと考える。高速船待合所の空港側も含めた利用制限のないWi-Fi設置、空港での通訳、レンタカーの手配、なぎさまちでの甲冑隊かっちゅうなどの出迎え、市外の目的地を網羅した周遊プランの紹介など、主体的にできることを積極的に進めるべきである。

答 今回のサミットの開催は、津市を売り込む千載一隅のチャンスと考えている。Wi-Fi整備については40万円程度の初期投資や維持費が必要となるが、観光客誘致につながることから積極的に進めていきたい。通訳については、三重県がボランティア募集等を検討していることから県と連携し検討していきたい。レンタカーの手配については、高速船、鉄道などいろいろな交通手段があることから関係事業者と検討していきたい。観光誘客を進めるために、いかにアピールしていくのかを考えており、民間事業者とも協議を行い忍者パックツアーなどいくつかの周遊プランを県に提案している。また、市内の甲冑を題材に活躍している団体と連携した取り組みも一つの案と考えている。

●その他の質疑・質問●

○まち・ひと・しごと創生総合戦略は雇用創出を基礎に定住者の増加を進め、合わせて合計特殊出生率も増加させる事を目的にした計画である。津の地の利を生かしたインバウンドはもとより、製品や技術サービスの輸出に力点を置いた計画にすべき
○教科書の採択は、採択権者である教育委員会の責任の下、決定されるべき など



▲なぎさまちやセントレアで渡航者への上質なおもてなしを



にし やま
西山 み え

けんとかうぶ
県都クラブ

大谷踏切の早期拡幅に向けた取り組みは

問 津駅北に位置するJR大谷踏切の拡幅の事業計画について、住民の長年の懸案事項であることを認識していただいた上で、「市民に時間が必要であることの認識をいただくこと」、また、「早期拡幅に向け、市に努力していただくこと」が必要と考えるが、その取り組みと進め方を問う。

答 平成10年には鉄道事業者と大谷踏切の拡幅について、他の踏切道を廃止することを基本として、拡幅の了承は得たものの、これまでに廃止する踏切道がなかなか見つからず、津駅前北部土地区画整理事業が進んできた中で、何としても、この時期に拡幅をさせていただきたいと調整を進め、つい先日、一志地域のJR名松線の踏切の1つを廃止していただくことで、地元の方々のご理解を得られたことから、いよいよ事業化に向けて進むことになる。

今後は、一日でも早い拡幅を目指して、鉄道事業者と工事実施に向けての協議と、道路拡幅に係る用地買収を行い、平成30年度には工事着手したいと考えている。

●その他の質疑・質問●

○津市における「教育の日」の考え方と対応、今後の進め方は
○不妊治療休暇制度促進事業
●制度の在り方と今後の充実は
●不妊治療の現状と助成金の給付と今後の考え方について
○子育て支援について4月に開設した3施設の現状と今後の運営について課題を含めて問う
○プレミアム商品券の12月末期限を有効に生かす対策は など



▲拡幅が予定されている、朝夕の渋滞が激しいJR大谷踏切